

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都中央区晴海 5-2-31 ららテラス HARUMI FLAG
園名	ポピンズナーサリースクールららテラス HARUMI FLAG

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

様々な音を感じる探究活動

<テーマの設定理由>

活動を通して、世界の国の音楽や日本の歌も聞き、その中で、生活で身近に感じる音に興味を持ってもらいたい。

## 2. 活動スケジュール

2025年6月16日イタリアとの交流 日本とイタリアの音楽を知る

○目的：会話や伝統的な音楽を知る

方法：オンライン イタリアのフニクリフニクラ紹介、園からも歌を披露

2025年6月23日ルワンダの言葉を知る、楽器の紹介

○目的：会話での発音や言語の音の違いを知ろう

方法：対面、プロジェクター

2026年2月9日～

①目的：雪の音、絵本を見て廃材で作れる楽器を知ろう

方法：雪、絵本+対面

2026年2月27日～

②目的：楽器の使い方や種類を知ろう

方法：プロジェクター、廃材製作

2027年3月18日～

③目的：作った楽器で演奏してみよう

方法：異年齢児との交流の中で発表する

2027年3月27日～

④目的：廃材製作で作った楽器の本物を触れる

方法：クラス活動

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

パソコン、プロジェクター、マイク、ピアノ、フルート

マーカー、セロハンテープ、絵本

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ① 言葉の音：聞き慣れている日本語ではなく、イタリア語、スワヒリ語について日本語の音の違いを感じる。
- ② 世界の音楽と日本の音楽の違いを感じる。
- ③ 雪の音：雪が降った次の日に公園に行き、雪を踏み音を感じる。踏みしめるから触ったり、溶けていく様子も観察。その後どのような音だったかをクラスで話し合いをおこなった。
- ④ 楽器作り：絵本や映像を通して楽器の種類を知り、自分たちで印象に残った楽器を廃材で表現する。
- ⑤ 演奏会（ピアノ）：作った廃材の楽器をピアノに合わせて演奏する。異年齢児が観客になりながら廃材で作った楽器に触れる機会を作った。
- ⑥ フルート：卒園式で使用しているフルートに興味を持ち、廃材で作ったフルートと本物のフルートの重さを感じたり本物に触れる経験を行った。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

それぞれのこどもの探求心があり、興味を持ったことに対して「これはどんな大きさなんだろう」「これも出来るかもしれない」という声が多く聞かれるようになったため、本物に触れられる機会や大きさや重さが体験できるように環境を整えていった。廃材での楽器作りも子ども同士で「この方がいいと思う」「これでいいかな」など会話をしながら作り上げている様子があり、自分たちの経験を異年齢のクラスに向けて伝えたいとの声が上がリ、自分たちの経験からさらに発展した活動になった。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・海外の交流もある中で様々な音の認識ができていた。
- ・身近な自然などからも音を探す楽しさを感じていたのもわかり、今後さらに音の世界を広げていく活動につなげていきたい。
- ・廃材や楽器を通して、普段捨ててしまう物でも本物に触れる体験やアイデア、素材一つで活動が広がり、こどもたちの思いから学びや異年齢児を巻き込むことの楽しさを感じることができた。こどもたちの気づきや思いを表現できる環境を用意していく楽しさも感じることもできた。